



60. 9 (月刊)
第 122 合併号
123 TEL 34-2584
編 集 事 務 局

会長からの新事務局長の紹介

このところ町会連合会も各位のご協力によって、予定通り行事を進めております。

扱て、前任の佐藤事務局長の五月末日の退任後、後任として成田光雄氏が事務局長として就任したのですが、その後健康を害して、現在中央病院に入院し七月末日で退任届出がありましたので、急遽その後任として八月一日より現事務局長本間久元氏が就任することになりました。本間氏は町会長としての経験者でもあり、町内会に対しては十分な理解をもっている方でもあります。今後は各町会長さんから色々とお指導ご協力をいただくことになると思われますので、よろしくお願いいたします。

町会連各部長からの報告

「総務部」

住居表示について

松森佃地区の住居の番地は「トビ番地」が多く地域住民が非常に不便を感じています。各町会でも一日も早く住居表示方を要望していたところ、去る七月二十七日市都市計画課では、昭和六十年から昭和六十三年までの四年間に松森佃及び福田地区を十一区の町名に区分して住居表示をすることになり、現在作業を進めています。

「交通安全部」

一、交通安全共済加入促進（昭和六十年年度）

取扱町会数 一四一町会

取扱人員数 一三、五四七人

市全体加入数 八九、三八七人

二、地区単位の交通安全パレード推進

現在まで実施地区 七ヶ所

(九月中に三ヶ所実施予定)

三、交通事故防止市民総決起大会

七月二十日晴天のもと約一、〇〇〇名の参加者があり実施された。

四、シートベルト着用運動

八月一日 シートベルト着用推進県民大会

八月二十九日 交通安全青森市民大会

五、交通安全施設の調査

九十町会から一三〇件の要望が出されたのにもつぎ市建設課、道路課担当者、警察署、当町会連関係部会員による道路診断を行った。

その結果について八月三十一日九十町会に回答書を送付した。

「建設部会」

七月二日の除排雪反省会の報告

これは、六十年年度の除排雪計画策定を前にして地域住民の声を行政に反映してもらおうと、当町会連の呼びかけにこたえて行なわれたもので、市側から岩淵建設部長、角田道路課長他、当方から岩谷会長を始め各部長と建設部員及び市内三十四地区の地区連合会会長等が出席した。

反省会のはじめに角田道路課長から五十九年度の除排雪を振り返って「大変な豪雪で除排雪もこれまでになく苦しかった。特に十二月三十一日の段階で積雪一二センチに達し、年が明けてからは市民から排雪の苦情が相次ぎ、中貫き方式による一斉排雪に踏み切ったのは七日から四日間。この中貫き法は生活道路確保の緊急措置として初めて試みたものだが、スピードアップと経費節減に効果をあげた」と報告があった。続いて町会側から次の提言と要望があった。

1. ボランティアで歩道の雪を片付けたところ、一晩のうちに車道の雪を積み上げられ、ガツカリした。
2. 郊外の道路に防雪柵を設置してほしい。
3. 海水の消雪パイプは公害原因になっており不要である。
4. 中貫き方式の排雪は業者に徹底されていなかった。

5. 除排雪のための新しい機械の開発が必要だ。
6. 除排雪は地域の実情をわかっている業者にやらせてほしい。などの要望が出された。これに対して市当局は、「歩道への積み上げは業者側も幅員いっばいに車道の除雪をしなければならぬので理解してほしい。歩道確保のためには常時排雪が必要になり難しい」

「海水消雪パイプについては悪路、水害、歩行者への迷惑、それに車の塩害など苦情が多く、経費もかかるので将来はやめたいと思っている。新しい機械の開発は市独自では難しい。しかし、部分的には市でも技術改良を行っている」

「除排雪業者はできるだけ町内を知っている業者にあたらせる」との答弁があった。

この日出されたこれらの意見、要望をさらに煮詰めて、六十年年度の除排雪計画に反映されることになっており、初めて行われた反省会にしては実りの多いものであった。

「環境衛生部」

環境整備の事業として六十年年度は、「カラス」による被害防止のため、モデル地区を設定し、モデル町会三十三ヶ所の協力を得て、網を無償提供し実施したところ、多大な成果があることを確認しました。

ゴミ収集場所の整備について七月十九日、市清掃二課の係員と環境整備部員数名と共同調査したところ、整備不良のところも数ヶ所あり、これに対して後日整備不良の箇所のある町会に文書で速急に整備するようお願いをしました。

「福祉部」

結婚葬祭の合理化については去る八月九日文化会館で他団体との意見の交換会を開き、他団体の出席者からは非実行に移して頂きたいとの声非常に強かった。九月二日の商工会議所で開催された出席三〇〇名からの「第八回町内婦人の集い」でも強く動議があり、行政県・市議会等にも働きかけ、ミエヤマダのない模範的な冠婚葬祭を行うよう強く要望があった。葬祭用花輪のかわりになる簡素化花輪のポスターが能登部長さんのお骨折りで見本が出来上りました。

新設町会の紹介

東嶺丘町会

会長 原 子 正 志

電話 四二二二七九〇

組数 二、世帯数 二二三

八月の会長出席した主な会合

- 八・一 交通安全県大会
- 九 交通安全功労被表彰者選考会
- 一四 社協大会実行委員会
- 一五 戦没者の追悼平和の鐘、打鐘式
- 二一 防犯パレード
- 二二 青少年問題協議会
- 二六 雪対策懇談会
- 二七 雪対策審議会
- 二九 交通安全功労者表彰式
- 三〇 ゴミ問題対策会

墓碑銘

油川新井田町会長。故山田秀雄殿（六十三才）

七月二十二日逝去されました。

○後任町会長に八月十六日

油川町千刈一七二

室谷秀四郎氏就任す TEL 八八一一九三六

花園第二町会長。故笹森幸一殿（七十才）

八月十八日逝去されました。

○後任町会長に九月五日付で

花園町二丁目九一三七

佐藤真藏氏就任す

TEL 四二一〇九七八